

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
かしまし 鹿島市	H25年度～H27年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
鹿島市役所 産業部 農林水産課	0654-63-3413	0954-63-2313	<a href="mailto:hironobu-shimomura@city.saga-kashima.lg.jp">hironobu-shimomura@city.saga-kashima.lg.jp</a>

【記入要領】

計画主体名

・市町村名にはふりがなをふること

計画期間

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

連絡先

・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

メールアドレス

・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

# I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出																		
交流人口の増加	0.03%	計画区域における交流人口の増加(%)=計画期間内の計画区域外からの入込客数(人)(目標)÷計画期間前の計画区域外からの入込客数(人)(現状)×100-100 =3,197千人÷3,196千人×100-100=0.03%																		
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b>																				
<p>交流促進事業を展開した交流人口の増加、並びに地域の振興を図り拠点づくりを進めていく。完成は、平成25年度末の予定であるため、平成26年度からの事業効果が表れるものとする。よって、平成24年度が3,196千人であるため、計画期間の交流人口を平成25年度3,196千人、平成26年度3,196千人、平成27年度3,197千人とし、平成25年度から平成27年度で1,000人増の目標を掲げる。</p> <p>なお、交流人口の増加0.03%(1,000人)増の根拠については、調理実習室(加工室)の床面積が約80㎡予定している。ここで、最大利用者が一人2㎡の占有として計算すれば、40名が作業可能人数となる。鹿島市では、この加工室の利用計画を定めているが、市外からの利用者も交流人口増に寄与していただこうと考えている。そこで、月に1回は最大利用人数の40名に来ていただく計画で、施設完成のH26年3月からH28年3月までの25ヵ月×40名として1,000人の利用を見込んでいくところである。(1,000人の根拠:加工室利用者等40人×25ヵ月=1,000人)</p> <p style="text-align: center;">(単位:千人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">計画前</th> <th colspan="3">計画期間</th> </tr> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,225</td> <td>3,210</td> <td>3,196</td> <td>3,196</td> <td>3,196</td> <td>3,197</td> </tr> </tbody> </table>			計画前			計画期間			H22	H23	H24	H25	H26	H27	3,225	3,210	3,196	3,196	3,196	3,197
計画前			計画期間																	
H22	H23	H24	H25	H26	H27															
3,225	3,210	3,196	3,196	3,196	3,197															
地域産物の販売額の増加	0.60%	計画区域において生産された農産物の販売額の増加(%) =(計画期間内の地域産の農産物の販売額(千円)(目標)÷計画期間前の地域産の農産物の販売額(千円)(現状))×100-100 =5,975,400千円÷5,940,000千円×100-100=0.60%																		
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b>																				
地区内で農産物が販売された地域産物の販売額は、平成18年度5,940,000千円である。上記に係る計画期間の地域産物の販売額は、平成25年度の事業計画により0.60%増の平成26年度、平成27年度の2カ年で35,400千円の増を見込んでいる。																				

【記入要領】

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

## II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
地域連携販売力 強化施設	鹿島市	調理実習室(約80 ㎡)に設置する農 産物加工機械一 式	急速冷蔵庫、冷凍 冷蔵庫、作業台、 真空包装機、包丁 保管庫、二層シン ク、搾汁機、ガス オーブン、ガス蒸し 器、煮練り機、ミキ サー、回転釜、遠 赤外線乾燥機、凍 結乾燥機、粉碎 機、小型製粉機ほ か	平成25年度	鹿島市	13,200	6,600	1/2	6,600	「地域産物の販売額の増加」を達成する上で、地域の特産品の加工開発や郷土生 産品の料理を地域に伝えていく地産地消活動を推進し、地域資源を活用した6次産 業化などを促進するために必要な事業である。 また、中山間地域の農業生産を強化することにより、市農業全体の連携強化を図 り、地域づくりを推進する拠点とする。 特に、農村の若者や女性の創意工夫による農産物加工活動の拠点として、都市 住民との交流を重ねることにより交流人口を増やし、併せて地域の販売力の強化を 目指す。 さらに、多良岳オレンジ海道は平成23年3月に開通したものの、沿線においては観 光資源が乏しく、他地域との交流はほとんどない状況であるため、平成25年度にお いて中山間総合整備事業として活性化施設を建設する。そこに農産物加工を行う 調理実習室を設置し、交流促進事業を展開した交流人口の増加並びに地域の振興 を図り、拠点づくりを進めていく。
合 計										

## 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・実施期間は、原則として3年以内とすること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

## 【添付資料】

(別添)融資主体型支援助成対象者調書

### Ⅲ 他の施策との連携に関する事項

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
該当なし			

- 【記入要領】
- ①交付対象となる事業のうち、実施要綱第11条に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性について記載すること。
  - ②連携する施策名には、実施要綱第11条に掲げる施策名を記載すること。
  - ③事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
  - ④地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
  - ⑤必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。



